

活動実施計画書

団体名：明治・内田橋堀川まちづくり協議会

1 組織の現況、課題

昨年度、明治・内田橋堀川まちづくり協議会はまちづくり構想の策定を目指したが、アンケート結果から地域住民への認知度が低いことが課題として浮き彫りになった。そのため、今年度は PR 助成を活用し、協議会の認知度向上を目的とした活動に注力する方針に転換した。定期的開催されるビジョンマップ作成委員会を通じて、地域内外の多様な主体が参加しやすい環境を整え、楽しい雰囲気の中で活動を進めることが重要になる。一方で、団体の強い志や熱意が新規参加者にとって参入障壁とならないよう、地域全体を心地よい温度感で包み込む工夫が求められている。

2 助成を受けようとする活動の目的

明治・内田橋堀川まちづくり協議会の認知度をアップするため、ビジョンマップ作成委員会を専門家と共に運営しながら、ブラダバマップ（エリア内の内田橋と堀川周辺を中心にブラブラまち歩きするためマップ）や缶バッジを作成し地域に対して協議会の重要性と参加意識を高めるべく、学区定例会や商店街イベントで老若男女により多く配布 PR し、このエリアの魅力を住人に知っていただくための助成を求めます。

3 活動による今年度の成果目標

ブラダバマップ、エリアのおすすめのお店や情報や名所、歴史を手書き風で作成できたらと考えております。缶バッジは現在小学校にご協力いただき、まちのキャラクターを自由に考えていただいております。それらを 10 月までに完成させ、内田橋まつりではブラダバマップを老若男女に、明治学区連絡協議会では高齢者を中心にブラダバマップを配布、明治学区のクリスマスイベント等では小中学生に配布すべて配りきる予定。明治学区連絡協議会や内田橋全体に周知と多くの賛同が得られるような活動にしてゆきたい。今年度の活動を通じて、地域に集う多様な人々の潜在能力を引き出し、魅力的な展開へと発展させるための基盤となる公的な関係性を築くことが目標となる。

4 助成を受けようとする今年度の活動内容

- ・ 明治・内田橋堀川ビジョンマップ委員会を月一で実施。
- ・ 10 月までに完成させたブラダバマップ、缶バッジを 11 月 3 日の内田橋まつりや明治学区連絡協議会、明治学区のクリスマスイベント等で配布することでまちづくり活動とまちの魅力の向上につとめていきたい。

5 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

内田橋商店街、明治学区連絡協議会、明治学区内有力企業、専門家、行政、地元小中学校、高校・専門学校、大学等
協議会において運営するために上記関係各所より担当者様の参加、または連携が必須である。

6 今年度の活動内容のスケジュール

月	活動内容	詳細
4	ビジョンマップ委員会スタッフ会 ビジョンマップ委員会	
5	ビジョンマップ委員会スタッフ会 ビジョンマップ委員会	
6	ビジョンマップ委員会スタッフ会 ビジョンマップ委員会	
7	ビジョンマップ委員会スタッフ会 ビジョンマップ委員会	
8	ビジョンマップ委員会スタッフ会 ビジョンマップ委員会	
9	ビジョンマップ委員会スタッフ会 総会兼ビジョンマップ委員会	
10	ビジョンマップ委員会スタッフ会 ビジョンマップ委員会	缶バッジ、ブラダバマップ完成
11	ビジョンマップ委員会スタッフ会 ビジョンマップ委員会 内田橋まつりブースPR出店	缶バッジ、ブラダバマップ配布
12	ビジョンマップ委員会スタッフ会 ビジョンマップ委員会 明治学区連絡協議会にPR参加 明治学区クリスマス会にPR参加	缶バッジ、ブラダバマップ配布 缶バッジ、ブラダバマップ配布
1	ビジョンマップ委員会スタッフ会 ビジョンマップ委員会	
2	ビジョンマップ委員会スタッフ会 ビジョンマップ委員会	年間総括
3	ビジョンマップ委員会スタッフ会 ビジョンマップ委員会	

7 活動後、次年度以降の展望

今年度のPR活動が順調に進み気運の醸成の高まりを感じたところで、もう一度構想づくりに一年間取組み、次年度は明治・内田橋堀川ビジョンマップ構想の完成を目標に2年後はより活発な活動を推し進めて行きたい。3年後以降その構想を住民に周知して賛同いただけるようなイベントやワークショップを開いていきたい。そしてそれが住民意見として、最終的には内田橋商店街の再開発や堀川の護岸工事の提案に伴う周辺のウォークアブルなまちづくりにつなげていきたい。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、3ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格A4とする。